

# TiGRAN 引き違い戸施工説明書（上吊り）

A801069

## ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

- ⚠ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。扉の反り、変色などの原因になります。
- ⊘ 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。
- ⊘ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- ⚠ 扉の開閉にあたっては、必ず引手を持って操作して下さい。引手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間に指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⊘ 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。
- ⚠ 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。鴨居の破損、又は思わぬケガの原因となる恐れがあります。

## ■点検・お手入れについて

1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きして下さい。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取って下さい。汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。
2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用して下さい。電動ドライバーを使用した場合は、ビス頭が壊れる恐れがあります。
4. 扉の調整で戸車等の調整をした場合は、調整後必ず締め付け、ガタツキが無いことを確認して下さい。脱落の原因になる恐れがあります。
5. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状況を確認して下さい。ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

## マークの見方

	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。」
	この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。
	この表示の欄は「必ず実施して頂く」指示内容です。

## お客様へのお願い

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。施工後は、必ずお施主様に手渡して頂きますようお願いいたします。

## ■施工上の注意

- ⚠ 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。
- ⊘ 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損する原因になります。造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないで下さい。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。
- ⊘ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。
- ⊘ 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

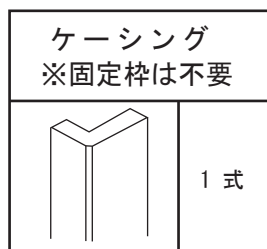
## はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認して下さい。運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。  
 ※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。 《 施工後は当社では責任を負いかねます。 》

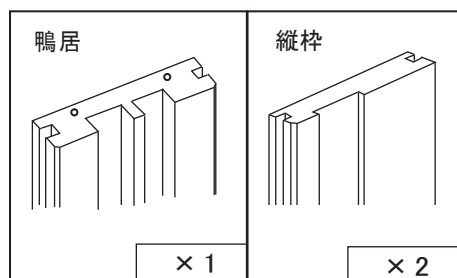
## 梱包内容の確認（組立て前に必ずご確認ください）

縦枠 × 2	鴨居 × 1	上レール ビス9本 付属 × 1	ストッパー × 2	調整付戸車 × 2	ソフトクローズ (戸先に標準) × 2
トリガー（ビス、 取付治具付） × 2	枠組立て 取付けビス × 13	ビス隠しキャップ × 8	ログナット × 4	下部ガイド (ビス付き) × 2	軽天ビス × 3
施工説明書 × 1					

## ●別売



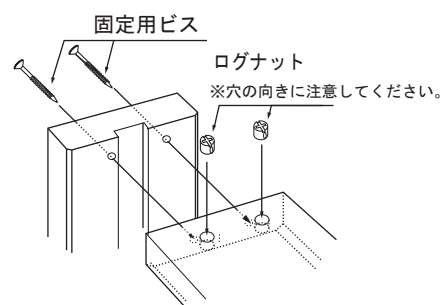
## ●ケーシングをご使用の場合



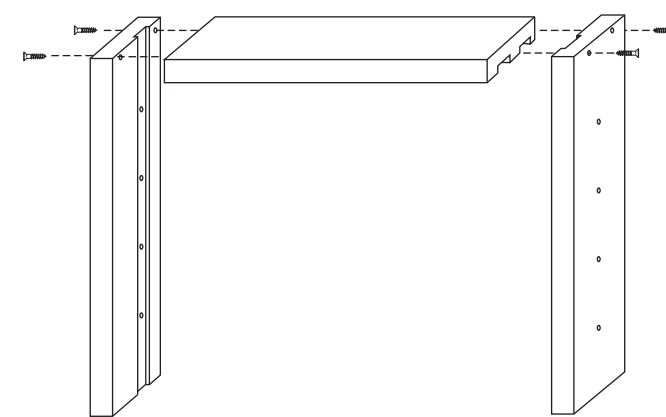
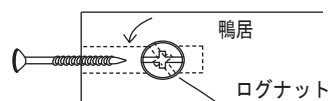
## ■施工手順

### 1 下図に従い固定用ビスで固定し、フレームを作ります。

縦枠と鴨居の固定は下図の要領にて固定して下さい。



※ ログナットの穴が組み立てビスに合わない場合ドライバーにて左図のように直して下さい。



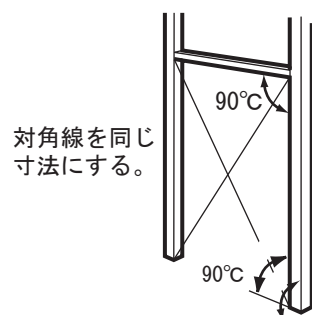
## 注意

特注品の場合は寸法を確認の上、施工して下さい。不明点がありましたら、必ず弊社営業にお問い合わせ下さい。

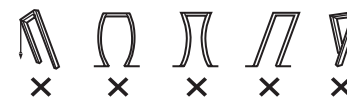
### 2 枠の取付け

枠を固定前に必ず枠内寸法の確認をしてください。

枠の取付の際は、水平、垂直を出し内寸法の狂い、ねじれの無いように施工して下さい。



※下記のようにならないようご注意ください。



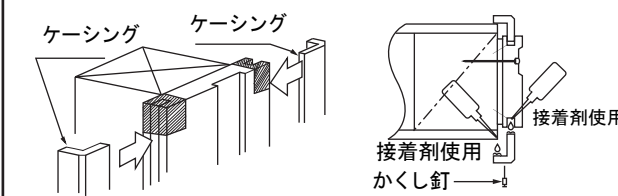
対角線と同じ寸法にする。

枠組立てビスで躯体に固定し、ビス隠しキャップをはめ込みます。



⚠ 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。鴨居の破損、又は思わぬケガの原因となる恐れがあります。

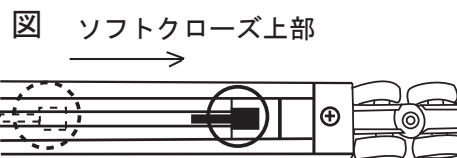
ケーシングご使用の場合  
ケーシングを下図に従い取り付けしてください。  
※ケーシングの取り付けについては、木工用ボンドと針釘を併用してください。



### 3 吊車、ソフトクローズの取り付け

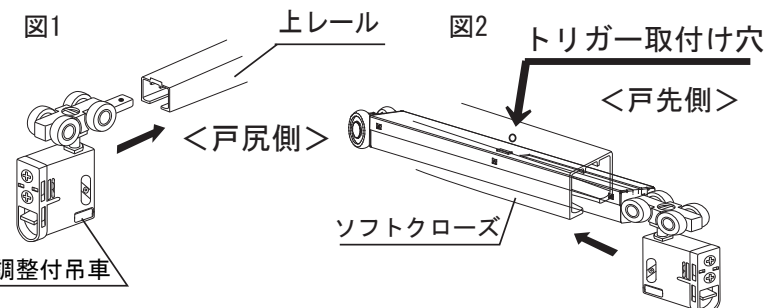
#### ソフトクローズの自動復帰

⊖ドライバー等で下図のように矢印方向にクローザーが効く位置まで引いてください。



⚠ レールに取り付ける前にクローザーが動作する事を確認して下さい。

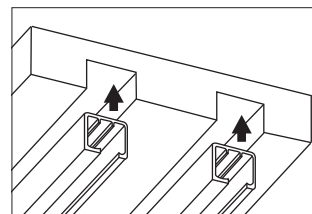
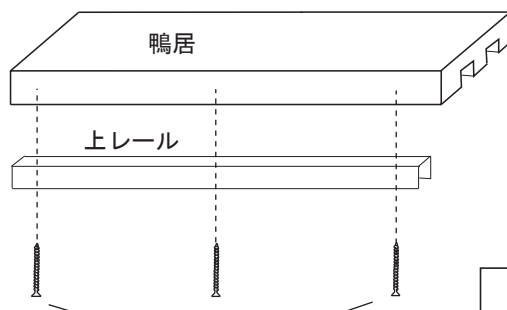
レールを取り付ける前に、下図1、2のよう示す方向で、調整付吊車を上レール内に挿入します。



#### 4 上レールの取り付け

鴨居に上レールを取付け後、付属のビスにて固定して下さい。右図参照

鴨居に上部レールを2本取り付けます。



**!** 鴨居、上レールの垂れ防止の為、鴨居両端と中央部には必ず同梱の軽天ビス (3.5×51) をご使用願います。

※鴨居を取付けの際は、強度のある梁に取付けてください。(梁が弱いと上枠が垂れ下がりが扉がスムーズに開閉出来なくなります。)

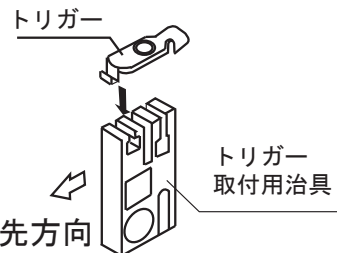
軽天ビス

**!** レール取り付けは戸先側を先に入れて固定して下さい。鴨居戸先から、4ミリほど出ます。  
レール取り付け後、レール内のゴミ・ホコリを完全に拭き取りをして下さい。走行不良の原因になります。

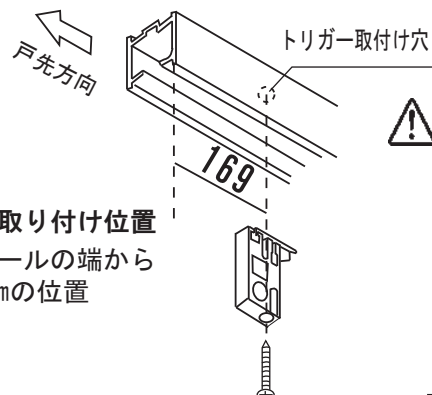
#### 5 トリガーの取り付け

トリガーの向きに注意してを取付用治具にはめ込んでから付属のネジで取付けて下さい。

トリガーを差し込む

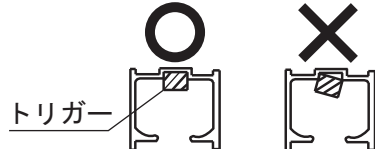


トリガー取り付け位置  
上レールの端から169mmの位置



**!** ※必ず手回しドライバーで取付けて下さい。締め付けすぎると、トリガーが変形し消音ダンパーが機能しなくなります。

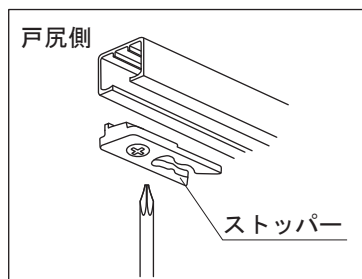
**!** トリガーをレールの溝にまっすぐに入れて下さい。



#### 6 ストッパーの取付け

下図のように上部レールの戸尻側端部にストッパーを取り付けます。

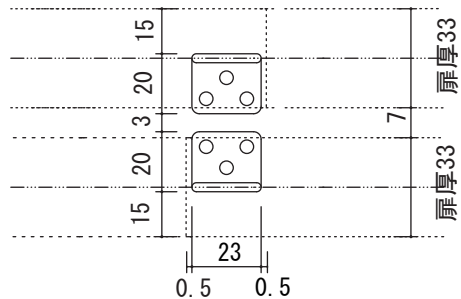
**!** ストッパーの取り付けをしたらしっかり固定されているか確認して下さい。



#### 7 下部ガイドの取付け

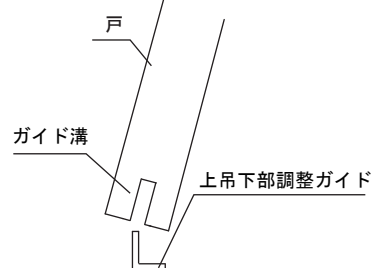
下部ガイドを下図の位置に取り付けて下さい。垂直に戸が吊り込めるよう、取り付け位置に注意して下さい。

扉重代:24



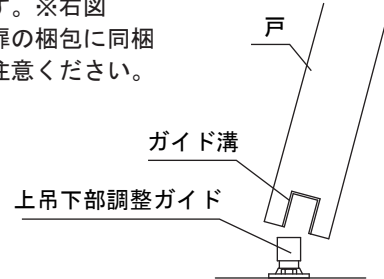
#### 8 戸の吊り込み

●まず、上吊下部調整ガイドに(戸に加工した)ガイド溝を差し込みます。 ※図1 <図1>

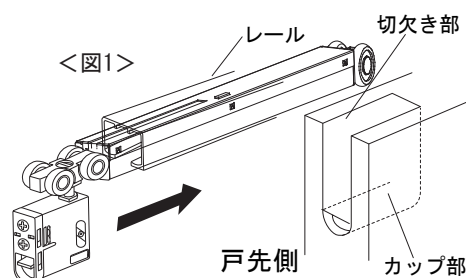


#### 注意

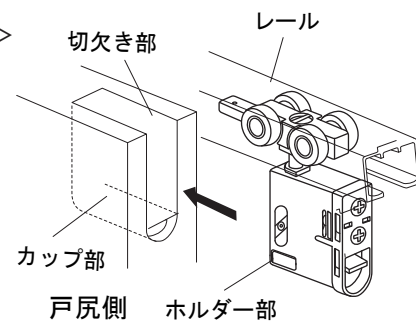
扉デザインがMM・MRの場合、扉の仕様上、下部ガイドが異なります。 ※右図専用の下部ガイドは、扉の梱包に同梱されておりますのでご注意ください。



●次に扉のカップ部に(レールに取り付けた)ホルダー部を差し込みます。 ※図1・2

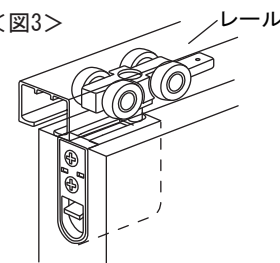


<図2>



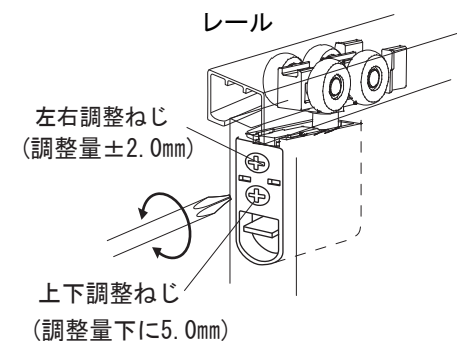
**!** 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで下さい。 ※図3 不十分のまま開閉しますと破損の原因となります。

<図3>



#### 戸の調整

●戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ネジ、左右調整ねじを回せば戸の上下左右の調整ができます。(調整範囲有)

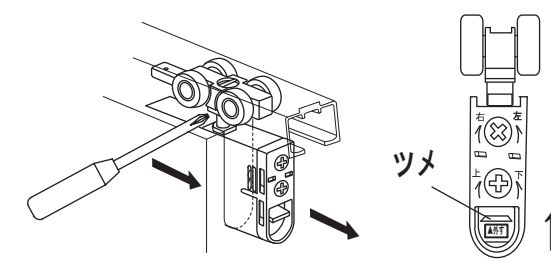


※初期設定では左右に2mm、下に5mm移動できます。

#### 上部ローラーの取外し方

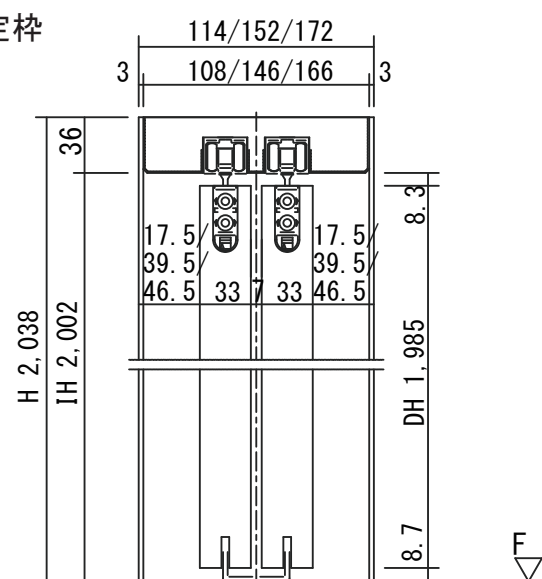
ツメを上へ上げながら引き抜いてください。抜けない場合はドライバーなどでローラーを押し上げてください。

※扉を少し持ち上げながら行うと外しやすくなります。

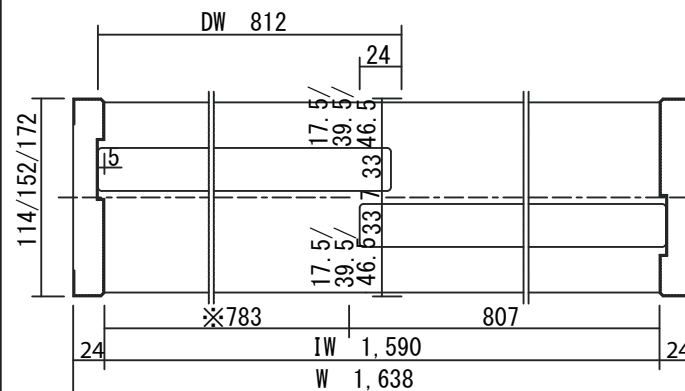
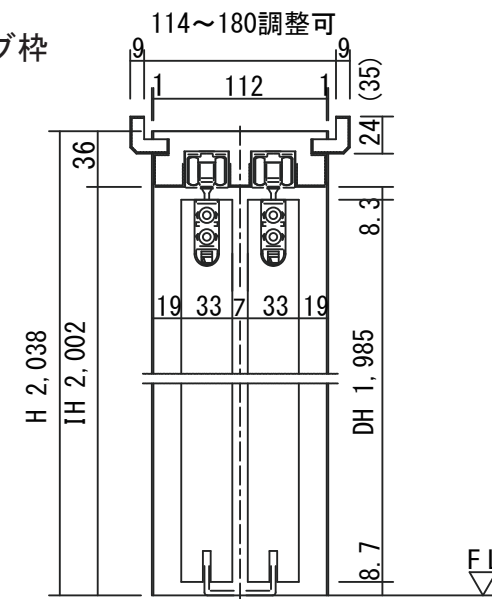


#### 寸法図

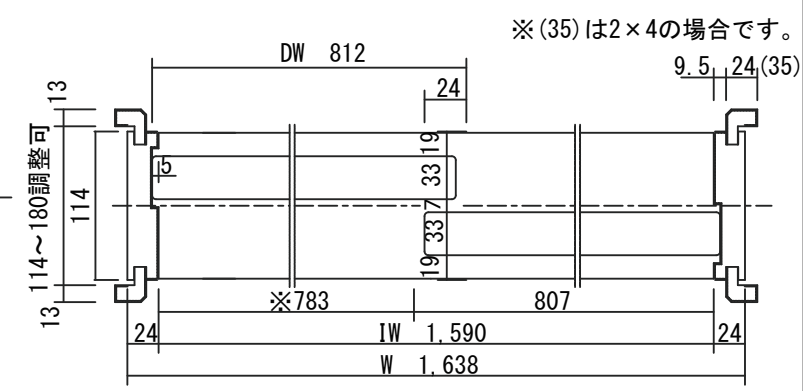
##### 固定枠



##### ケーシング枠



※ 有効開口は上記寸法より-5mmになります。



※ 有効開口は上記寸法より-5mmになります。

※(35)は2×4の場合です。